

海の人材育成に関する国際シンポジウム

2016年7月19日～20日 | 日本・東京

セッション2：海洋環境の保全

Photo credit: Nick Hall

北太平洋沿岸計画パートナーシップ

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア

1) 当プロジェクトの主眼点

北太平洋沿岸計画パートナーシップ (MaPP) の主要目的は、2015年4月に承認された4件の小区域の海洋使用計画および2016年3月に承認された地域行動枠組み (RAF) を実施することである。海洋計画およびRAFは、以下の5つの効果を重視している。

- **効果1：協力および統治**——協力的な海洋統治モデルを強化すること。
- **効果2：海洋区画**——区画割りを通じて健全な海洋環境、好調な経済、および力強いコミュニティを実現すること。
- **効果3：管理、監視、および警備**——総合的な監視および警備を含む、保全および持続可能な慣行を通じて生態学的、文化的、考古学的遺産の責任ある使用及び保護の強化を行うこと。
- **効果4：持続可能な経済開発および健全なコミュニティ**——コミュニティおよび人間の福利を改善する新たな生態系に基づく海洋経済を育成すること。
- **効果5：気候変動および適応管理**——MaPP地域の気候変動の影響により適切に対応するために調査を行い、計画を執行すること。

2) 参加組織その他のパートナー

MaPP パートナシップは、ブリティッシュ・コロンビア州 (BC) と17のBCのファーストネーション (カナダのイヌイトまたはメティを除く先住民族) の間で署名された同意書によって2011年に形成された。そのファーストネーションの代表は、沿岸ファーストネーションズ-グレート・ベア構想、北岸-スキーナ・ファースト・ネーションズ管理協会、中央海岸原住民資料同盟、ハイダ民族評議会、及びナンワコラス評議会である。その時点でのパートナーシップの目標は、陸上のグレート・ベア・レインフォレストで策定され、実施された斬新な土地利用計画に関する協定を基礎とし、BCにおける最初の大規模な資源利用計画を海洋において実現することであった。このパートナーシップは、4件の小区域の海洋計画および地域行動枠組みを産出し、これらは現在、小区域および地域レベルで実施されつつある。

3) 能力開発において効果が証明された活動やツール

科学的に厳密で、アプローチにおいて協同的である MaPP は、以下の様な点において画期的である。つまり、1) 計画を策定するために BC 政府と 17 のファーストネーション政府の間で結ばれた他に例を見ないパートナーシップ、2) 利害関係者の多様性、3) 計画が対処する海洋問題の数、

および 4) 地球上で生態学的に最も重要な地域において経済開発および保全計画を実施するための生態系に基づいたアプローチ、である。また、MaPP の計画は、北アメリカで行われた海洋空間計画取組みのうちで最も広い海洋区域を対象としている。

策定された海洋計画を共同で実施することは、もっと全体的で統合された視点で課題や機会に対応するようにパートナーたちの能力を開発することを目指した社会的革新である。海洋管理に対する MaPP の全体的なアプローチは、責任ある方法で海洋資源から生じる恩恵を増加させ、世界的に重要な生態系、経済、および地元住民にとって重要な社会的・文化的構造を保護し、修復することを目的としている。

MaPP の優先事項は、沿岸のコミュニティ、とりわけファーストネーションの能力を高めること、海の状況を監視すること、危機的な状況にある入江や生息環境を修復することに貢献すること、および環境の緊急事態に対してより適切に計画を立て、対応するために地理的対応計画の策定および執行に直接的に参加することなどである。

4) 特に、継続的に能力開発に取り組むことおよび／または同様のプロジェクトを他の地域で展開することに関連して経験した困難な課題

困難な課題に関しては、MaPP は、変化の注意深い管理および利害関係者およびその他の政府との効果的な管理を求めることで、BC の海洋管理の新たな方法を開発している。また、17 のファーストネーションと BC 政府が関与する、BC で行われた最大規模の共同統治の取り組みとして、MaPP の包括的統治構造は、広範な制度変更を生み出す可能性を秘めた画期的なこととして、およびすでに意欲的となった事業の複雑さの源として、評価されねばならない。

能力開発を重視し続け、この取り組みをどこかよそで再現することは、困難を伴う可能性がある。なぜなら、うまく実施できる条件を整備する必要があるからだ。この条件とは、適切な資金、海洋計画でリーダーシップを取ることで、他の政府が前向きに先住民と付き合うこと、およびいったん合意したら計画を実施するだけの十分長期の資金などである。

5) このプロジェクトの次の段階

最近パートナーたちは、最初の 5 年間の実施に向けてのアプローチを確認し、小区域および地域レベルの特に優先的な戦略に着している。MaPP は、実施を後押しする補充人員を雇用し、今年には著しい進展が期待されている。

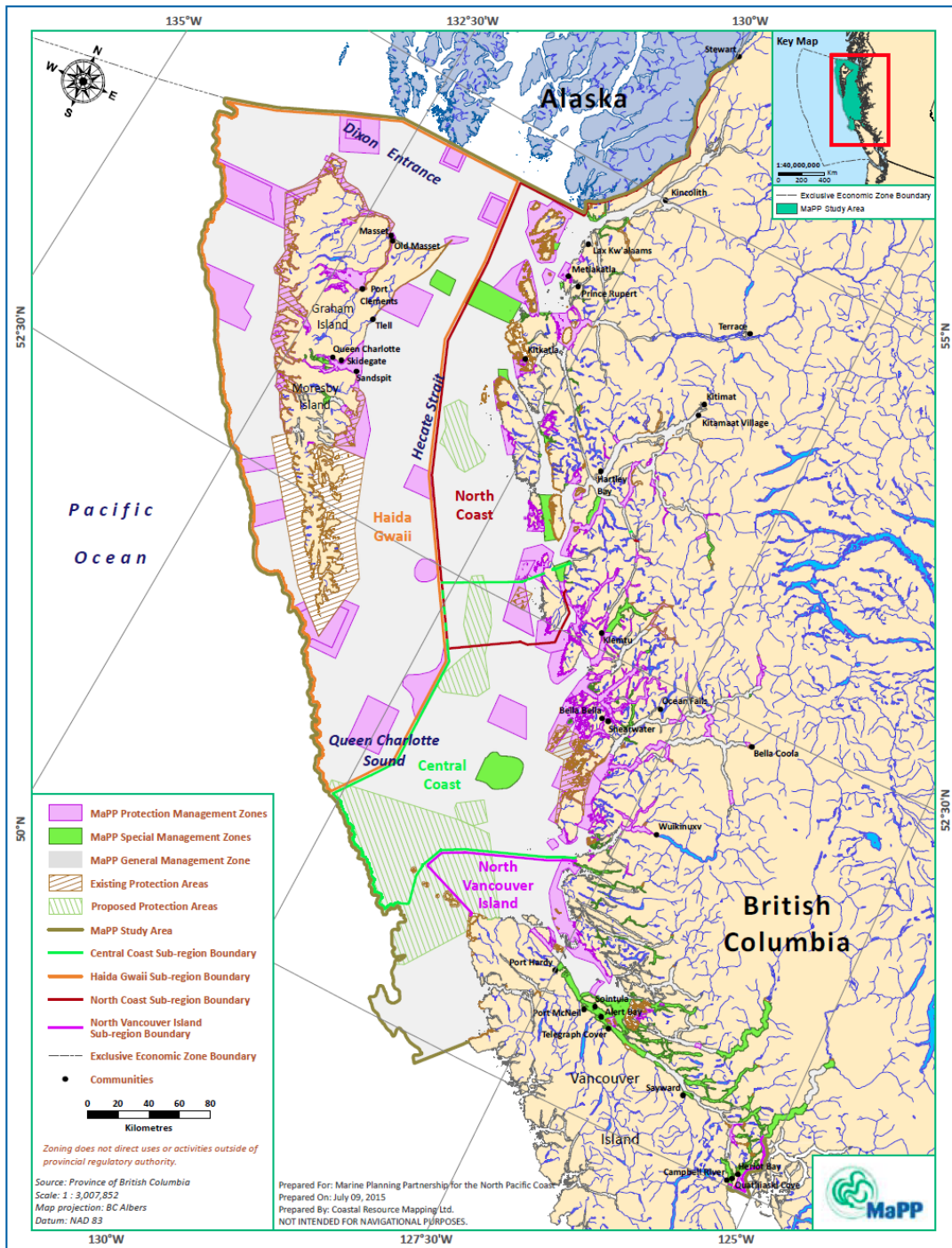
最初の 5 年主要なプロジェクト目標および活動は以下のようなものである。

- 主要な生態学的および人間の福利に関する指標を特定・監視するなど、確固たる、適応可能な生態系に基づく管理 (EBM) アプローチを実行すること。
- MaPP で特定された、保護、一般および特殊管理空間地帯を実現し、それによってアマモ、サケ、およびその他の種の危機的な状況にある生息地を保護し、また主要な海洋利用者によりどこを提供し、再生エネルギーおよび貝類の養殖のような新興セクターの手引きを与えること。
- 海洋保護区域ネットワークの形成のような、連邦政府を含めた主要三者構想を推し進めること。
- 政府機関、ファーストネーション、産業、およびその他の利用者によるデータ収集の協力を緊密化するなど、能力を高め、提携を強固なものにすることを通じて海洋を中心とする監視および管理を強化すること。
- 貝類の養殖、観光、および海産物開発に関連した経済開発構想を推進すること。
- 開発による意図しない影響に対処する累積影響評価を実施すること。

- 汚染削減管理戦略およびプロジェクトに着手すること。
- 海洋気候変動の影響に対する地域リスク評価を行い、危機的な状況にある入江を含む、炭素吸収源に対する炭素回復計画を実施すること。
- 海洋原油流出および海上事故に対する事前対応計画を実施すること。

MaPP の成果は、MaPP 協定に含まれる海洋使用および管理についての決定を越えた事項に影響を与えるために、連邦政府ならびにさまざまな産業および利害関係者との議論に統合されつつある。

<http://mappocean.org/>



Zone designations in the MaPP region